

2 家畜衛生対策事業

(1) 監視体制整備事業

ア 家畜伝染病防疫対応強化

飼養衛生管理の向上を図るため、会議・研修会を開催し、また、農場を巡回し衛生管理指導を実施した。

| 実施内容 | 実施回数 | 出席人数/ 実施戸数 | 対象 |
|--------|------|---------------|---|
| 地域推進会議 | 4回 | 102名 | 市町、農協、獣医師 |
| 衛生管理指導 | 44日 | 56戸 | 畜産農家(畜種内訳は下記) 牛(乳・肉):22日30戸、豚:6日6戸、 採卵鶏:12日15戸、肉用鶏:4日5戸 |

イ 家畜衛生関連情報整備

畜産農家からの情報や病性鑑定成績等を基に、家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報を収集・分析し報告及び農家への情報提供をした。

| 実施内容 | 実施件数 | 備考 |
|----------|-------|----------------------------|
| 情報の収集 | 75(件) | 家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の収集 |
| 家畜衛生情報提供 | 34(回) | 家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の報告 |

(2) まん延防止円滑化対策

特定家畜伝染病に関する連絡会議及び防疫演習の実施協力を行った。

| 実施内容 | 回数 | 出席人数 | 備考 |
|--------------------|---------------|------------|-----------------------------------|
| 口蹄疫・鳥インフルエンザ対策連絡会議 | 10 | 447 | 各農業振興事務所主催 市町、関係機関、関係団体 |
| 鳥インフルエンザ防疫演習(地域) | 3(地域) 1(県) | 215 110 | 机上演習及び実地演習(農場防疫作業 及び消毒ポイント作業等) |

(3) 慢性疾病等生産性阻害疾病対策

生産性阻害が顕著な農場に対し、生産性を阻害する疾病群について、調査・検査を行い、発生動向を把握、得られた成績をもとに、対策を検討するとともに、疾病防疫マニュアル作成の基礎とする。

| 疾病名 | 畜種 | 調査戸数 | 調査頭羽数 | 実施内容 |
|----------------------|----|------|-------|--|
| 難治性乳房炎 (プロトセカ乳房炎) | 牛 | 1 | 77 | 本病が確認された農場に対し、浸潤状況調査を実施。当該結果及び体細胞数を基準とした搾乳牛のグループ分類と配置替え、搾乳順番の変更、搾乳手順及び陽性牛のとう汰等を指導。また畜舎消毒を実施。対策後、体細胞数の平均値及び損失乳代が減少した。 |
| ウイルス性疾病 (PRRS) | 豚 | 1 | 2,400 | 本病の浸潤状況を把握し、陽性豚群のオールアウト、洗浄・消毒の徹底、ピッグフローの見直しを行うことで、ウイルスの動きが明確になり、畜主の啓発につながった。引き続きモニタリングを実施中。 |

(4) 畜産物安全性確保対策

ア 生産衛生管理体制整備事業

畜産物の安全性の確保を図るため、生産現場に HACCP 方式に基づく飼養管理方式を導入するために必要な検査、指導を実施した。

| 区分 | 戸数 | 対象項目 | 実施内容 |
|------|----|----------------|--|
| 養豚農家 | 4 | 農場 HACCP 構築の指導 | 定期的に各農場における情報の分析及び衛生管理システムの見直し等について指導するとともに、関係者を集めた推進会議(12回)を実施した。 |

イ 動物用医薬品危機管理対策

(ア) 動物用医薬品の品質検査・指導

流通段階にある不適正な動物用医薬品を排除し動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品等販売業者への立入検査・指導、医薬品の収去・品質確保検査を実施した。

| 販売業者 店舗数 | 立入検査・指導 | | 品質確保検査 |
|-------------|---------|-------|---|
| | 対象店舗数 | 実施店舗数 | |
| 111 | 111 | 44 | 医薬品の収去：県央家保1品目 (収去品目：動物用イソジン液) 検査場所：家畜衛生研究部 検査結果：規格範囲内 |

(イ) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の使用の規制に関する省令に基づく動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、養豚農家1戸、肉用鶏飼養農家1戸、産卵鶏飼養農家1戸及び肉用牛飼養農家1戸の計4戸について動物用医薬品の使用状況等の実態調査を実施した。各農家とも休薬期間を厳守しており、問題はなかった。

(ウ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料とするために、薬剤耐性菌の発現状況について調査した。

| 対象 菌種 | 対象 家畜 | 対象 農家数 | 検体数 | 菌分離 陽性数 | 分離 株数 | 実施内容 | 備考 |
|--------------|--------------------------|-------------|---------------|--------------|------------|---------------------------------------|------------|
| カンピロ バクター | 肥育牛 肥育豚 採卵鶏 肉用鶏 | 21戸 (7戸) | 21検体 (7検体) | 5検体 (2検体) | 9株 (2株) | 分離した9株 について8薬剤 の薬剤感受性を 検査した。 | () 管内分 |